

立教大学キリスト教学研究科 公開講演会

(「天皇制とキリスト教」研究会共催)

# 「ラフカディオ・ハーンのみた日本という形」



講師：西川 盛雄 氏

(熊本大学名誉教授・客員教授)

司会：吉駒 明子 氏

(恵泉女学園大学名誉教授)

日時：2014年4月12日(土)

14時00分～16時00分

会場：立教大学池袋キャンパス

14号館6階 D601教室

明治23年(1890)に来日して日露戦争の年に「小泉八雲」として亡くなったラフカディオ・ハーンは、近代化していく明治日本をどのように見ていたのか。

書簡なども用いて没後110年の節目の今年、その現代性などに触れながら紹介する。

マッカーサーの副官として来日し、天皇制の維持や昭和天皇の戦犯不訴追に重要な役割を果たしたとされるボナ・フェラーズは、学生時代に渡邊(一色)ユリから「ハーン」を紹介されたという。

この渡辺ユリ、恵泉女学園創立者の河井道や、ハーンが熊本在住中に交流のあった熊本洋学校教師ジェーンズらとの面白い「関係」など、広い視点から新たな発見を提供する予定である。

**参加無料・事前申し込み不要** (どなたでもご参加いただけます)

◆問い合わせ先◆ 立教大学学部事務1課 (03-3985-2521)  
立教大学キリスト教学研究科 (03-3985-4779)

講師：西川 盛雄 氏

熊本大学名誉教授・客員教授

1943年神戸市生まれ。大阪大学大学院修了（英語学専攻）。ミネソタ大学（フルブライト奨学生）、ランカスター大学（国際ロータリー財団奨学生）大学院に留学。熊本大学名誉教授・客員教授。

主著：『英語接辞の魅力 語彙力を高める単語のメカニズム』開拓社（2013年）、『英語接辞研究』開拓社（2006年）、『言語理論の展開と応用』英宝社（2009年）、『ラフカディオ・ハーン—近代化と異文化理解の諸相』九州大学出版会（2005年）、『ハーン曼荼羅』北星堂書店（2008年）等多数。

★立教大学池袋キャンパス 案内図

会場（6階）

